

神戸市が都市空間向上計画(素案)を発表

「よりコンパクトなまちづくりを行う」と

人口の3割を 切り捨てる 地域に

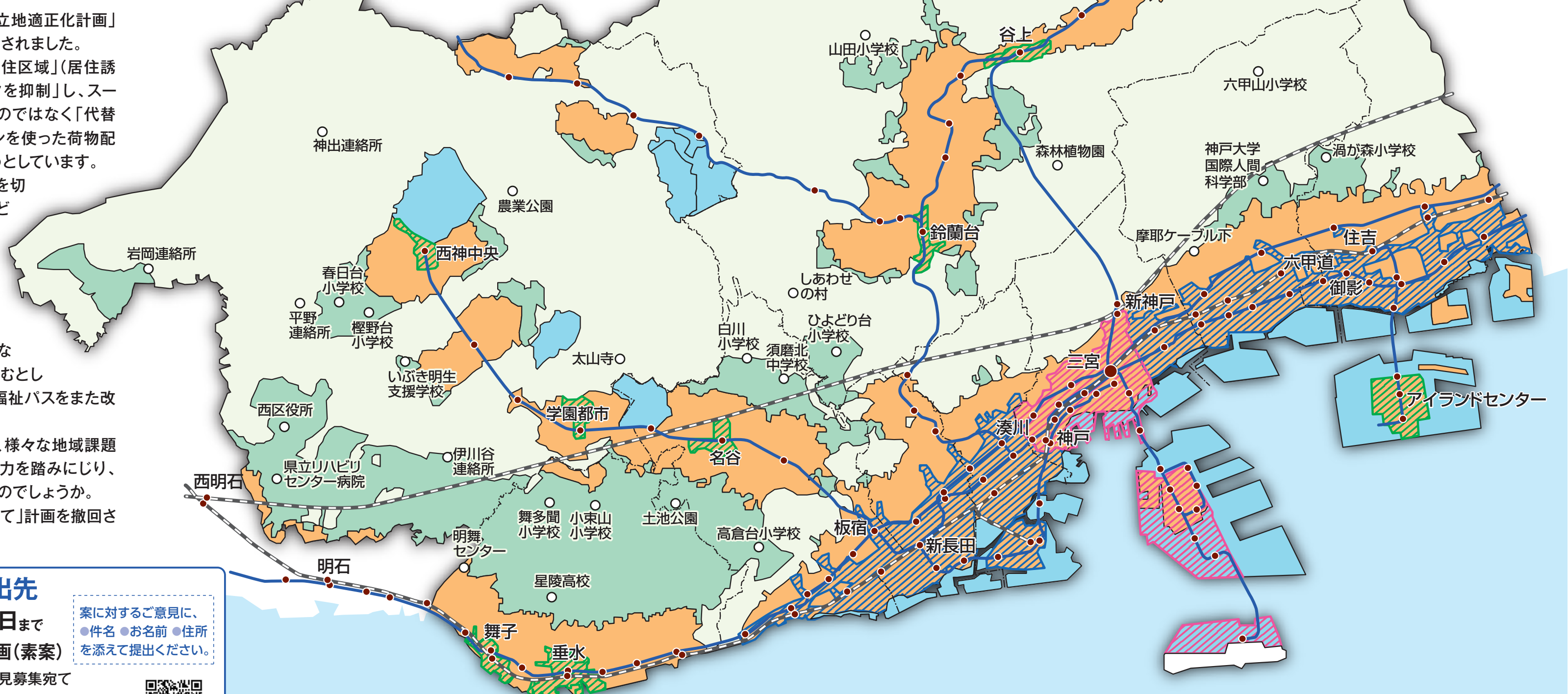
切り捨てる地域(行政区別)

西区	人口の6割
垂水区	人口の5割以上
須磨区	人口の3割
北区	人口の3割
灘区	人口の1割
東灘区	人口の5%

*兵庫区と長田区は、あわせて約1千世帯

神戸市都市空間向上計画(素案)の区域指定

- 人口密度を維持する区域(居住誘導区域)
- 住宅ストックを抑制する区域(居住誘導区域外)
- 工業団地・臨港地域などの区域
- 区役所、図書館、総合スーパー、地域医療支援病院を移転集約する区域



安倍政権がすすめる地域切り捨て政策である「立地適正化計画」の神戸版である「都市空間向上計画」(素案)が公表されました。

神戸市は、駅から離れた住宅地を「山麓・郊外居住区域」(居住誘導区域外)に指定し、その地域では「住宅ストックを抑制」し、スーパーや病院が撤退しても、新たな施設を誘致するのではなく「代替手段」として「移動販売車」や「遠隔医療」「ドローンを使った荷物配送」をすすめるなど、過疎の村のような扱いをしようとしています。

公表された「区域」案では、垂水区や西区の大半を切り捨て、神戸市による開発団地(渦森、鶴甲、ひよどり台、須磨ニュータウン、西神中央、西神南)への責任も放棄しようとしています。

一方で、都心三宮やJRや地下鉄の利用客が多い駅の近郊を規制緩和して、高層ビルやマンションを誘致。区役所や基幹病院を集約し、さらに過密化をすすめています。神戸市は駅前が便利になれば「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりが進むとしますが、市バス路線を切り捨て、今度は敬老バス、福祉バスをまた改悪し、市民の足を奪おうとしています。

多くの住民が、長年まちづくりに尽力してこられ、様々な地域課題の解決にむけてとりくんでいる最中に、こうした努力を踏みにじり、愛着ある街を奪う権利が、いったい誰にあるのでしょうか。

日本共産党神戸市会議員団は、この「地域切り捨て」計画を撤回させるまで全力で奮闘する決意です。

おせひ声を
お寄せください

パブリックコメント提出先

受付期間 7月9日～8月8日まで

件名 神戸市都市空間向上計画(素案)

宛先 神戸市都市局都市計画課意見募集宛

送付方法 〒650-8570 神戸市役所2号館4階
FAX 078-322-6095

持参も可 E-mail toshikukan@office.city.kobe.lg.jp

案に対するご意見に、
●件名 ●お名前 ●住所
を添えて提出ください。

